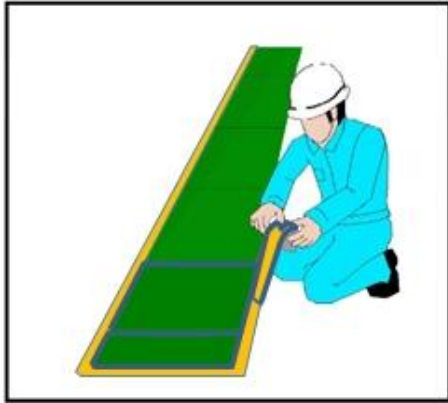
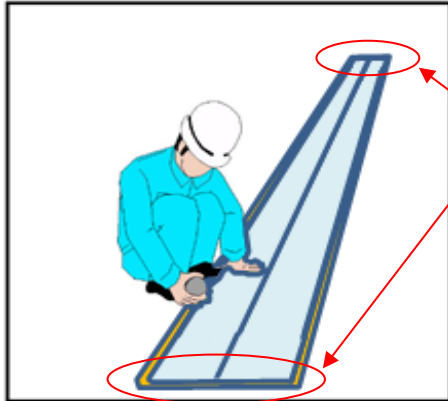
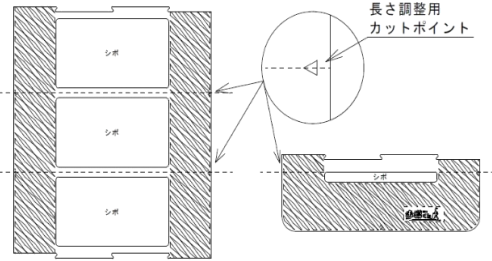


視覚障がい者歩行誘導ソフトマット『歩導くんPlus』敷設方法



① 歩導くんPlusを並べてマスキングテープなどで位置決めを行う。

- 寸法出し及び敷設面の掃除を行う。
- 歩導くんPlusの表面と裏面を間違えないように注意する。（※図1参照）
- 長さ調節が必要な場合は、**必ずカットポイント**に沿ってカッターナイフ等でカットする。
- 歩導くんPlusをカットする際は、一気に切らずにカッターナイフ等で少しずつ切り込みを深くし、カットする事。
- カットの際は、ケガをしないよう十分注意する。



② 寸法内に両面テープを敷設する。

- 重ならないように貼る。（※推奨テープ：寺岡製作所 No.710 又は 同等品）
 - 端のほうのテープからできるだけ隙間のないように敷設する。
 - 歩導くんの前後部分は、はみ出す様に貼る。※後々の角部分の捲れを防ぐ為。
 - はみ出した端部は歩導くん敷設後、カットする。※床面への影響注意。
 - 強固な接着の場合は、EPDM（歩導くん材質）専用テープでマット端部・接続部に2重貼りを施す。
- （※詳しくは当社又は購入された取扱店へご相談ください。）

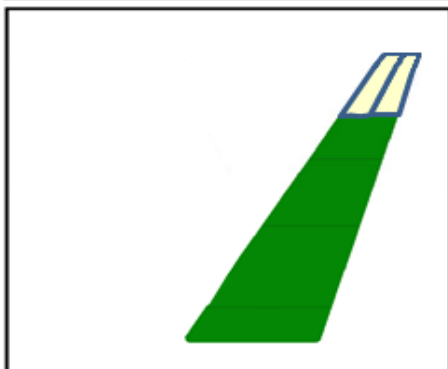


③ 両面テープの剥離紙を少しはがし端部をずれないように固定する。

- 剥離紙を全面はがすと微調整がききにくいので注意。
 - 一度仮置きし、剥離紙を少しずつ剥がしながら位置を決める様に設置する。
 - 固定の際も表面と裏面を間違えないように注意する。
- （※凹凸のある面が裏面：図1参照）

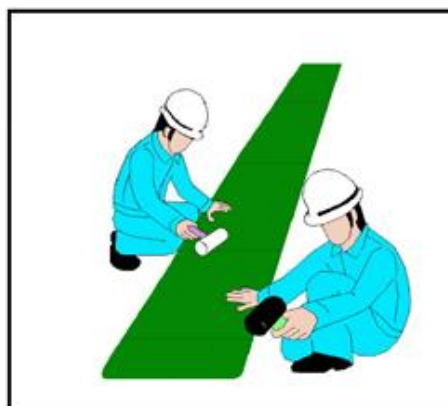


（※図1）



④ 両面テープをめくりながら設置していく。

- 特にジョイント部はめくれてこないよう接着不良には注意する。
- 端部についてもめくれないように接着不良やテープ材不足に注意する。
- 接着面に手を触れると接着力の低下につながるので注意する。



⑤ 接着後、ゴムハンマーなどで接着面を押さえる。

- 端部にはみ出ている床の両面テープを除去する。※床面への影響注意。
 - 仕上げワックスを薄く塗布する。
- ※ワックスは、当社推奨ワックスか一般床用ワックスをお使い下さい。
- 推奨ワックス：ビッグステップ（高耐久タイプ）または同等品。
- 【参考メーカー：ペンギンワックス】

※敷設の際、歩導くん同梱の施工上の注意を必ずお読みください。
ご不明な点は、当社又は購入された取扱店へご相談ください。